

「人」と「まち」をつなぐ

広報

えびの

その他の掲載記事

- ◎ 地域と共に歩んだ軌跡
- ◎ CIVIC NEWS
- ◎ まちのわだい
- ◎ えびの気質 「前原莉沙さん」
- ◎ うまかもん 「コメテイヤ」



特集

一人で悩まないで
誰かに話してみませんか

2012 August vol.550

8

一人で悩まないで 誰かに話してみませんか



私とあなたのココロをつなぐ

絵：宮崎県心の健康原画募集 最優秀賞作品

宮崎県では年間300人以上の人が自殺で亡くなっています。中でも、西諸地区は県内でも一番高い自殺率となっています。（※自殺率…人口10万人対の自殺者数）
えびの市でも平成22年までの10年間に159人が自殺によって亡くなっています。

9月10日から16日は自殺予防週間です。地域でお互いに支えあう気持ちを大切に自殺予防のことについてみんなで考えてみましょう。

心の病気は、誰でもかかる病気

自殺既遂者に対する調査からは、うつ病等の気分障害がとくに重要な自殺の要因であることが明らかになっています。厚生労働省での自殺対策においても、その中核となっているのはうつ病対策です。

近年、この心の病気になる人たちは急増し、国内の患者数は300万人以上に及んでいます。

この心の病気は自分には無関係と思っていませんか。まずは自分にも関係のある問題として、この心の病気を理解しましょう。

心の病気は早めの対処が大切

ストレスを受けて、気持ちが落ち込んだり、イライラするのは誰にもあることです。つらいとき、体調がすぐれないときに眠れなかったり、食欲がなくなることもあるでしょう。こうした

症状があるからといって、この心の病気とは必ずしも言えません。

しかし、特に理由もないのに気持ち不安定になるなど、この心の不調が長く続く場合は専門機関に相談することを勧めます。

この心の病気もからだの病気と同じように、早期発見、早期対処が大切です。早めに適切な治療や社会的サポートを受けるほど、回復しやすいことがわかっています。

あなたのこころは大丈夫

この心の病気は、自分では症状に気づきにくいのも大きな特徴です。皆さんの周囲に、以前と比べて様子が異なっている人はいませんか。気になる症状が長く続いたり、生活面での支障が出てきている場合には、早めに専門機関に相談するよう勧めてください。下のこころの天気予報であなただけの病気をチェックしましょう。

一人で抱えず相談しましょう

こころの病気について、さまざまな相談機関や支援機関があります。「こころの病気かも…」 「仕事を始めたいけれど、病気のこと心配…」 など、どうしていいのかわかっていることはありませんか。このような健康面や医療面での悩み、仕事のこと、住まいや生活面、経済面で困っていることについて、さまざまな相談先があります。一人で抱えずに、ぜひ相談してください。

こころの天気予報

あなたや周りの人のこころの天気をチェックしてみましょう

最近2週間の私は	毎日	ほとんど毎日	半分以上	半分以下	ほんのたまに	全くない
明るく、楽しい気分でも過ごした	5	4	3	2	1	0
落ち着いた、リラックスした気分でも過ごした	5	4	3	2	1	0
意欲的で、活動的に過ごした	5	4	3	2	1	0
ぐっすり休め、気持ちよく目覚めた	5	4	3	2	1	0
日常生活の中に興味のあることがたくさんあった	5	4	3	2	1	0

あなたのチェックした数の合計は 点

チェックした数の合計は何点？

- ◇ 13点～25点：現在のところ問題はありません。今後も定期的にチェックしましょう。
- ◇ 0点～12点：少しこころが疲れ気味かもしれません。次の「うつチェック」をしてみましょう。

うつチェック

最近2週間の私は	チェック	
毎日の生活に充実感がない	<input type="checkbox"/>	2項目以上あてはまる場合は結果へ
これまで楽しくやれていたことが楽しめなくなった	<input type="checkbox"/>	
以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	<input type="checkbox"/>	
自分が役に立つ人間だと思えない	<input type="checkbox"/>	1項目以上あてはまる場合は結果へ
わけもなく疲れたような感じがする	<input type="checkbox"/>	
死について何度も考えたことがある	<input type="checkbox"/>	あてはまる場合は結果へ
気分がひどく落ち込んで、自殺について考えることがある	<input type="checkbox"/>	
最近ひどく困ったことやつらいと思ったことがある	<input type="checkbox"/>	

結果を見てみましょう

上のうつチェック表で結果へとなった人は、「それらが2週間以上、ほとんど毎日続く、毎日の生活に支障が出ている」場合は、うつの可能性があります。かかりつけ医か最寄りの相談窓口へご相談ください。

うつ病について

【うつ病とは】

うつ病とは、ひどく落ち込んだり、楽しみを感じられなくなり、日常生活に支障をきたす病気で、さまざまなストレスにより脳が障害を起こしている状態です。決して、「弱い」からでも「怠けている」のではなく、誰でもかかる可能性があります。

【症状は】

気分が重く沈む、何をやっても楽しくない、眠れない、食欲がないなどの症状があります。回復期に自殺が起こることが多い病気です。少し元気になった後も、本人のペースが保てるよう、見守ることが大切です。

【治療は】

病院での薬による治療が第一となります。ただし、こころと体を休めることも必要なのです。職場や家庭でも環境を整えていくことが大切です。

【周囲はどうしたらよいか】

周囲は、励ましたり、焦らしたりしないで、本人がゆっくりと治療に専念できる環境を整えることです。無理に気分転換を勧めたりせず、いつも通り接することが大切です。

【予防は】

自分のストレスに気づき、自分にあった解消法でため込まないことが大切です。悩みは、誰かに相談して一人で抱え込まないことが大切な予防の一つとなります。

Interview



小林保健所疾病対策担当
村岡涼子 保健師

誰にでもできる自殺対策

西諸地域は、県内でも自殺対策に一番早く取り組んでいる地域です。現在では、たくさんの方が「自分たちのできることから」と、さまざまなことに取り組んでいます。

死にたいと考える人の話を聞くことがありますが、「さびしい」「孤独だ」といった言葉を多く聞きます。孤独感を感じさせない、お互いを気づかう地域にみんなであつていきましょう。気になる人から相談を受けた人は悩まないように、自分自身が悩んだ時には、こころの相談窓口早めに相談してください。

深い悲しみや複雑な思いを抱えたまま苦しいときを過ごしています。大切なものを自ら絶つという悲劇を防ぐために私たちができることは何なのでしょう。国は、平成18年に「自殺対策基本法」制定し、19年には「自殺総合対策大綱」により国をはじめ地方公共団体、民間団体が密接に連携し、総合的に自殺対策を進めていく必要性を示しました。西諸地域でも、平成18年に自殺対策協議会を設置し、えびの市も24年度から自殺対策推進協議会および部会を設置し、行政だけでなく各関係機関、民間団体が共に連携し、あ

総合的かつ効果的な自殺対策の推進を目指しています。しかし、自殺対策は、市民一人ひとりが、自殺は決して他人事ではないという認識をもち、自分の心と体の健康、うつ病等に対する正しい知識をもつこと、お互い支えあいの気持ちを持ちにし、それぞれができることを今すぐやってみることが自殺を予防する確実な力になっていくと考えます。

ゲートキーパーになりませんか

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必

要な支援につなげ、見守る人のことです。悩んでいる人は、孤独を感じていたり、周囲から孤立したりして、相談につながらずに追いつめられている場合が多くあります。そのため、周りの人がそのサインに気づき、声をかけるなど、一歩を踏み出す勇気が必要になります。周りに悩んでいる人がいた場合、あなたもゲートキーパーとして、一歩を踏み出してみませんか。

こころの相談窓口

窓 口	電話番号
えびの市健康保険課 (月～金 8:30～17:00)	35-1111
小林保健所疾病対策担当 (月～金 8:30～17:00)	23-3118
こころの電話 (月～金 9:00～19:00)	0985-32-5566
NPO 法人宮崎自殺防止センター (水・金・日 20:00～23:00)	0985-77-9090
自殺防止電話「ライフネット宮崎」 (月・火・木・土 19:00～23:00)	0985-28-2555

※相談は、祝日・年末年始は除く。



自殺を防ぐために、 私たちが今できること

自殺は追い込まれた末の死

自殺の背景には、いくつもの複数の要因が絡み合っているといわれます。きっかけ(例えば、配置転換、事業不振、身体疾患、子育ての悩み、いじめなど)があり、そこから経済問題、人間関係や家族関係等暮らしの問題に転化され、そこから個々の心の問題へ転化されていく。この連鎖のその末に、心理的に自殺へと追い込まれていく、といわれます。

自殺を防ぐために

「死にたい」ほど悩んでいるひとは複数の問題を抱えていて、ひとつの窓口だけでは全部の問題を解決できないという限界があります。支援体制の整備などの社会的な取り組みは確かに重要です。それに加え、市民それぞれが、自分の心の健康づくりを意識して行い、ストレスや問題を抱え込みすぎないようにすることも大切です。各種ストレス等が主原因となっておこる心の風邪ともいわれる「うつ」は生涯に15人に1人は経験するという病気です。多くの場合、早めに気づき治療することで回復します。

見逃さないで自殺のサイン

「死にたい」と考えている人も、心の中には「生きたい」という気持ちとの中で、激しく揺れ動いており、「死にたい」という直接的な言葉だけでなく「眠れない」「生きるのに疲れた」といった間接的な言葉や、酒量が増したり、あえて健康を損なうような危険な行動をとったりといった自殺の危険を示すサインを発しています。

自殺のサインは本当の「死にたい」なのでしょうか。「死にたい」ではなく「助けてほしい」と救いを求めているのではないのでしょうか。

自殺は他人事ではありません

自ら命をたつてしまう「自殺」。えびの市でも、これまでになくさんの人が自殺によって亡くなっているという悲しい現実があります。そしてその家族や周囲の人は、長い年月を経た今も



吉都線 100 年のあゆみ

年月日	西暦	できごと
大正元年 10月1日	1912年	宮崎線吉松～小林町で開業。京町駅、加久藤駅、飯野駅、小林町駅が新設。
大正2年 5月11日	1913年	小林町～谷頭間が延伸開業。高原駅、高崎新田谷頭駅が新設。
大正2年 10月8日	1913年	谷頭～都城間が延伸開業。現在の吉都線が全通。都城駅が新設。
大正5年 10月25日	1916年	宮崎線吉松～宮崎間が全通。
大正6年 9月21日	1917年	宮崎本線に線名改称。
大正12年 12月15日	1923年	小倉～吉松間全通により日豊本線に線名改称。
昭和4年 2月1日	1929年	西小林駅が新設。
昭和7年 12月6日	1932年	現行の日豊本線ルート開業により吉都線が誕生。
昭和22年 3月1日	1947年	万ヶ塚駅、日向前田駅が新設。
昭和26年 3月1日	1951年	小林町駅が小林駅に改称。
昭和27年 4月15日	1952年	日向庄内駅が新設。
昭和32年 7月5日	1957年	上江駅が新設。
昭和33年 2月1日	1958年	鶴丸駅が新設。
昭和34年 5月1日	1959年	準急「えびの」（熊本～宮崎）が運転開始。
昭和36年 10月1日	1961年	広原駅が新設。
昭和37年 2月15日	1962年	準急「からくに」（出水～宮崎、山野線経由）が運転開始。
昭和38年 12月1日	1963年	東高崎駅が新設。
昭和41年 3月5日	1966年	準急「えびの」が「からくに」として急行格上げ。
昭和49年 4月25日	1974年	特急「おおよど」（博多～宮崎）が運転開始。
昭和55年 10月1日	1980年	特急「おおよど」廃止。
昭和62年 4月1日	1987年	全線、貨物営業が廃止。九州旅客鉄道に継承。
平成2年 11月1日	1990年	「飯野駅」が「えびの飯野駅」、「上江駅」が「えびの上江駅」、「加久藤駅」が「えびの駅」、「京町駅」が「京町温泉駅」に改名。
平成5年 10月1日	1993年	ワンマン運転開始。
平成12年 3月11日	2000年	急行「えびの」廃止。



写真②

吉都線が開業して今年10月1日で100年となります。
吉都線は、鹿児島県始良郡湧水町の吉松駅から宮崎県都城市の都城駅に至る九州旅客鉄道（JR九州）の鉄道路線（地方交通線）です。肥薩線八代駅～吉松駅間と合わせて「えびの高原線」の愛称が付けられています。
吉都線は、吉松～小林町（現在の

小林市）間が宮崎線として大正元年（1912年）に開業したのが始まりです。大正2年10月8日には、都城までの全線が開通しました。
昭和7年（1932年）12月6日、都城～吉松間が吉都線と改称され、昭和32年7月5日に上江駅が新設されました。
■北海道から乳牛を運搬
昭和43年、北海道中標津から乳牛50頭が導入される際、牛は、北海道からえびのまで貨物列車で10日間をかけた運ばれてきました。運ばれてきた牛は、真幸地区の農家50戸に引き渡されました。（写真②）
■最後の蒸気機関車
固い鉄のかたまりが、黒い煙を吹き上げ、白い蒸気をばらまきながら走る姿は、勇ましいものです。私たちのえびの市も鉄道の開通によって栄えてきました。かつては、味の良い真幸米が、

名産の霧島馬が、食糧難を救ったカライモが貨車いっぱい積み込まれて送り出されました。しかし、鉄道も近代化が進み、蒸気機関車は次第に引退への道を歩み、昭和49年、全廃されました。（写真：門司港発上り都城行の最後の旅客列車 撮影：昭和47年3月14日加久藤駅写真①）
■全駅が無人化
昭和61年11月1日には、えびの市内全駅が無人化となりました。平成2年11月1日、京町温泉駅、えびの駅、えびの上江駅、えびの飯野駅と改名されました。
■イベントに参加ください
吉都線は、大正元年の開業以来、市民の通勤・通学などの手段として大きな役割を果たしてきました。沿線では、吉都線100周年を記念しさまざまなイベントを実施します。この機会に、イベントにご参加ください。

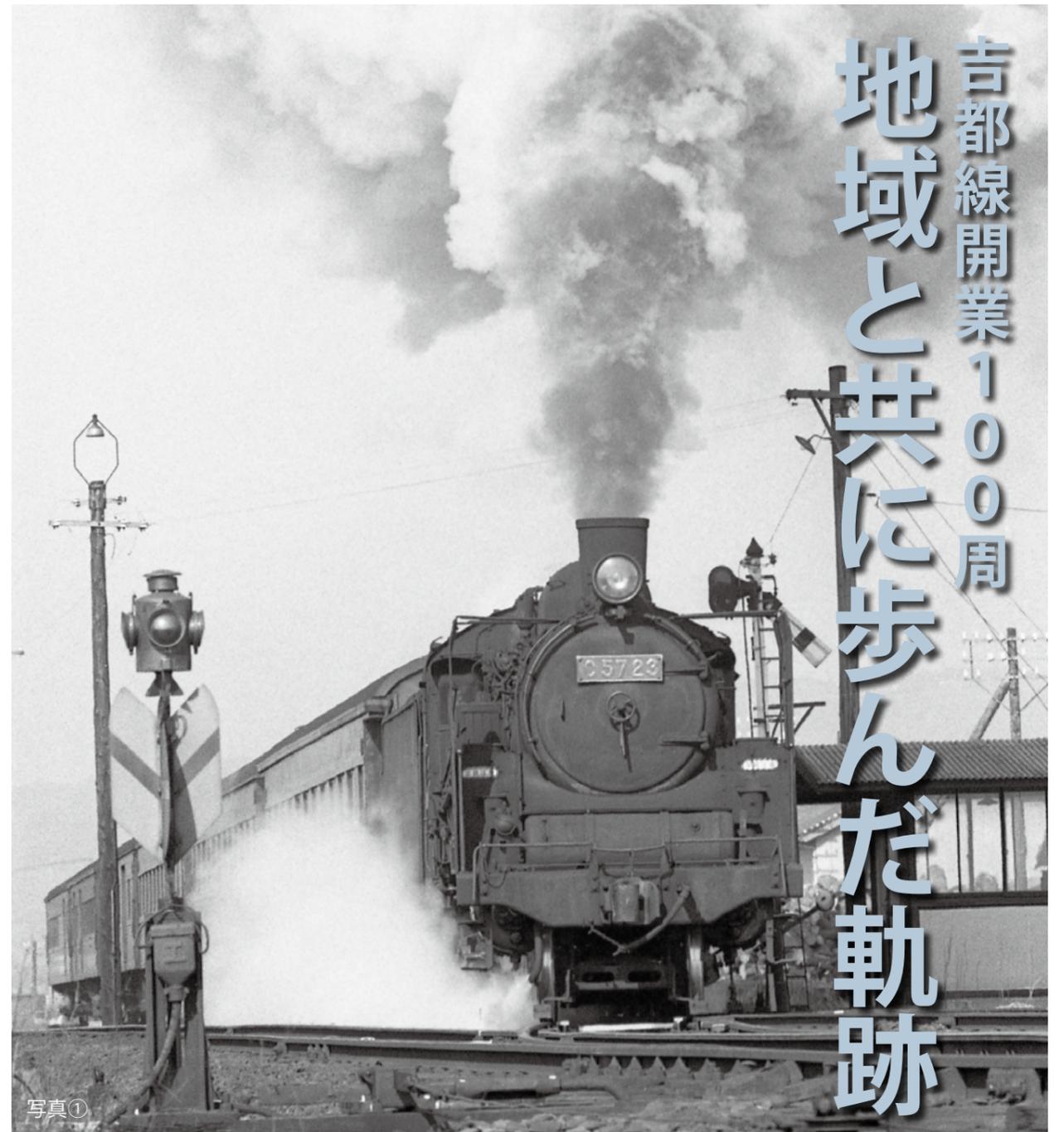
吉都線開業100周年記念イベント

吉都線の開業100周年を記念して、下記日程で式典、イベントを開催します。

- 開催日＝9月30日（日）午前9時～
- 会場＝えびの駅周辺、えびの駅前通り
- 内容

食のもとなし（おにぎり、豚汁、鹿肉の竜田揚げの振る舞い）、みこし（飯野駅前区みこし、中島区子供みこし）、田の神さあ踊り、物産の販売、記念グッズの無料配布、フリーマーケット、自衛隊車両展示など

問吉都線100周年事業実行委員会事務局（市企画課政策係）
☎35-1111（内線321）



写真①



公共工事入札・契約監視委員会を設置 公正中立の立場で入札を監視



えびの市では、市が発注する公共工事の入札および契約の公平性と透明性の確保を図るため、えびの市公共工事入札・契約監視委員会を8月2日に設置しました。

この委員会は、平成23年度に発生した職員による不正事

件を受け、再発防止の取り組みの一環で設置したものです。委員会では、「公共工事の入札および契約手続きの運用状況に関すること」、「委員会が抽出した公共工事に係る入札参加資格の設定、入札参加者の指名、随意契約の理由等

23年10月1日〜平成24年3月31日までに契約した工事です。定価格130万円を超えるもの5件」が審議されました。審議の結果、落札率が高いことや情報公開をさらに進める必要性があることなどの指摘がありました。

公正な入札への取り組み

市では、同じ不祥事を繰り返さないため、公共工事入札・契約監視委員会の設置の他に、次のような取り組みを行っています。

- 公益通報制度(注1)の強化
 - 通報の窓口を法律事務所に設置しました。
 - 変動型最低制限価格(注2)の導入
 - 平成24年1月から公共工事に試行的に導入しています。
 - 入札・契約事務の組織体制の整備
 - 入札執行事務を工事設計技師が関与しない財政課に移管しました。
- その他にも、これまで、職

○公共工事入札・契約監視委員会委員(敬称略)

氏名	職業
井手真弓	社会保険労務士
海野理香	税理士
大塚孝一	公認会計士
中澤隆雄	宮崎大学名誉教授
町元真也	弁護士

行政改革推進本部事務局(市財政課)
☎35-11111(内線383)

員の懲戒処分等の基準の追加、倫理研修、コンプライアンス研修、綱紀保持のためのマニュアル作成、企業向けの倫理研修等を実施しています。

(注1)市の職員等が知り得た市政運営上の違法または不正な行為に関して行う内部通報制度

(注2)最低制限の基本となる価格に、コンピュータよりランダムに出された係数を乗じて得た最低制限価格

地域おこし協力隊員が新たに2人着任 地域の課題を共に解決

地域おこし協力隊員2人が、新たにえびの市にやって来ました。

地域おこし協力隊は、地域の課題を外部の人材を活用しながら解決しようという総務省の推進事業です。隊員は、地域の課題解決に向けたお手伝いを行っています。

今回採用されたのは、東京都出身の神戸彰隊員と佐賀県出身の山田知広隊員です。これからの3年間、地域おこし協力隊として、えびの市内で地域おこしの支援活動などを行っていきます。



神戸彰隊員。趣味は旅行、ヨガ



山田知広隊員。趣味は、釣り、ギター演奏

☎35-11111(内線352)
☎35-11111(内線352)

など音楽関係の仕事をした経験があります。経験を活かしてえびの市に新しい風を入れて行きたいです。山田隊員は、「えびの市の人はとてもあたたかく、えびの市自体、やさしいまちの印象を受けました。地域の人が元気に暮らせるまちづくりに貢献したいです」と話していました。

新しい協力隊員は、早く地域にとけ込みたいと考えています。市民の皆さんの温かい支援をお願いします。

身体障害者相談員に委嘱状を交付 障害者と行政のかけ橋

8月1日、市役所で身体障害者相談員への委嘱状交付式が行われました。委嘱を受けたのは上田秋正さん、古江虎男さん、谷口幸典さん、森ふぢさん、馬越脇琢磨さんの5人です。

これは、県からの身体障害者相談員への委託による相談業務が、えびの市に権限移譲されることに伴い行われたものです。

身体障害者相談員は、障害のある人やその家族の日常生活

活などにおけるさまざまな相談に応じ、必要な助言や指導等を行っています。

身体障害者相談員への相談は無料です。内容については秘密を守ります。

障害者相談員の詳細については、市福祉事務所までご連絡ください。

☎35-11111(内線261)
☎35-11111(内線261)



委嘱状を受ける上田秋正さん

CIVIC NEWS

市政ニュース

出会い創出事業補助金 出会いの場を応援

市では、独身の男女が出会いえるイベントなどを開催する人・団体等に、事業費の一部を補助します。食事会や料理教室、農業体験などさまざまなイベントを企画して、独身男女の出会いの場をつくってみませんか。

- 【補助対象者】市内に住所があるか、市内に所在地がある人や団体
- 【補助対象事業】独身男女に出会いの場を提供するイベントで、次の4つの項目全てに該当するもの
 - ①参加者全員が独身で20歳以上であること。
 - ②参加者総数が10人以上であること。
 - ③参加者の男女比率がかたよらないこと（7・3以内）。
 - ④参加者のうち5人以上がえびの市在住者であること。
- 【補助対象経費】会場使用料、借上料、事務経費その他消耗品費など
- 【補助対象外経費】・飲食費、賞品、景品代など
- 【補助金の額】予算の範囲内



☎ 市企画課政策係
35-1111 (内線322)

で、補助対象となる経費のうち10万円が上限
【補助金申請方法】市役所本庁企画課にある申請書に記入し、企画課に提出。申請書は市ホームページ (<http://www.city.ebino.jp/>) からダウンロードも可能です。
【その他】
※要件等の詳細については、企画課政策係まで問い合わせください。

県職員7人に併任辞令を交付 県と協力、税の徴収強化

市では県と協力して、税の収納対策に取り組む「併任人事交流制度」に取り組んでいます。7月19日、県職員7人に平成24年度の併任辞令が交付されました。

併任人事交流制度は、県職員が、えびの市から併任辞令の発令を受け、徴収事務に従事するものです。県職員と市職員相互の徴収技術の向上を図り、税の収納率の向上と税収の確保を目指します。



県と研究会等を行い徴収技術の向上を図ります

4年前に併任人事交流制度に取り組んで以降、悪質な滞納者へのタイヤロックや預貯金の差し押さえを集中的に行い、収納率の向上に成果が出ています。今年度もすでに80件以上の差し押さえを行ってまいります。

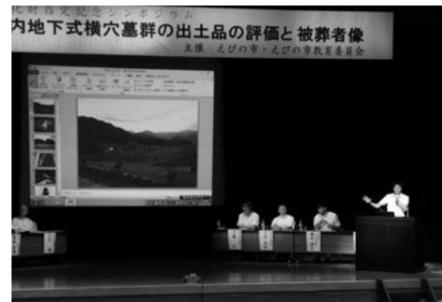
税の滞納解消は、公正・公平性を確保するうえで、何よりも大切なことです。市では県と協力し、より厳しい姿勢で滞納の解消に努めます。

重要文化財指定記念シンポジウム 出土品の価値を再確認

島内地下式横穴墓群出土品の重要文化財指定を記念したシンポジウムが、8月5日、市文化センターで行われました。シンポジウムには、市内外から約200人が参加しました。

このシンポジウムは、島内地下式横穴墓群の出土品の価値を、専門家の評価を加え、多くの市民に知ってもらおうと行われたものです。

講師には、豊島直博氏（文化庁文化財部美術学芸課）、古谷毅氏（東京国立博物館学芸研究部列品管理課）、千賀久氏（葛城市歴史博物館長）、吉村和昭氏（奈良県橿原考古学研究所）、橋本達也氏（鹿児島大学総合研究博物館准教授）が招かれました。



シンポジウムの様子

☎ 市社会教育課
35-2268

墳時代の南九州の社会構造を知る上で欠かせない資料である。これは、えびの市の宝でもあり、国の宝でもある。この宝を今後、どう守り伝えていくかが重要である。それには、お金がかかるが、えびの市のPRにもつながるので大切にしていきたい」と話していました。

市教育委員会では、今後、この重要文化財の展示と保存に努め、広く公開し、活用していきます。

管工事協同組合と相互協定を締結 災害時の水道応援を確立

えびの市とえびの市管工事協同組合（12社）は、台風や地震などの災害が発生した時の水道の応急活動（給水、水道の応急復旧など）等を協力して行う協定を7月25日、締結しました。

市の水源は、川内川の上流にあります。そのため、水源地で大規模な災害が発生した場合、安定した水の供給ができなくなる可能性があります。その場合、ライフラインでもある水の迅速な供給と

水道の復旧が求められます。市と同組合では、災害時の給水や断水・給水制限等の被害を早期に回復することなどを目的として協定を結んだのです。

協定にあたり村岡市長は「水は市民生活にとって大切なもの。災害などでは、協力し迅速な対応をとっていきたい」と挨拶。同組合の築純洋理事長は「地元の水道を守っていくことを責務としていきたい」と挨拶しました。



調印をする市長と築理事長



西川北菅原神社で牛越祭
牛のジャンプに歓声

7月28日、西川北菅原神社で牛越祭が行われました。祭りには、市内外から多くの人々が来場。牛が丸太を越える度、歓声がわき起こっていました。

牛越祭は、400年以上の歴史があります。牛が丸太を飛び越えることで、家畜の無病息災と豊作を祈ります。今年、西川地区の21頭が丸太越えに挑戦しました。

白坂重之牛越祭保存会会長は「この伝統を守り続けていきたい」と話していました。



絶景を見ながら列車の旅
環霧島周遊列車をおもてなし

7月27日、霧島山麓を一周する環霧島周遊列車が運行されました。周遊列車には、県内外から約80人が乗車。霧島山周りの絶景を楽しみました。

この周遊列車は、霧島の魅力を多くの人に知ってもらおうと行われたものです。今年度は、全4回運行される予定です。途中の停車駅では、地域の特色あるおもてなしが行われました。

えびの駅では、高齢者クラブによる踊りなどが披露されました。

上浦の澤原八坂神社で「棒踊り・鎌踊り」 **力強い踊りで五穀豊穡**



7月15日、上浦の澤原八坂神社で「棒踊り・鎌踊り」が行われました。

上浦地区の棒踊りは、地区の伝統芸を後世に残そうと、昨年、壮年部を中心に23年ぶり復活しました。

鎌踊りには、岡元小学校の児童16人が、棒踊りには、壮年部の18人が踊り手として参加。息の合った踊りを披露していました。

この「棒踊り・鎌踊り」は、五穀豊穡を願い毎年7月15日に上浦の澤原八坂神社で踊られます。

8月5日、真幸地区体育館で東日本大震災の被災地、陸前高田市の小学生バレーボールチームを招いてバレーボール交流会が行われました。交流会には陸前高田市の小学生17人と市内のバレーボールチームの40人が参加しました。



陸前高田市の子どもたちとバレーで交流

被災地の小学生に笑顔

この交流会は、口蹄疫などの支援に対し感謝の気持ちを込めた「みやざき感謝プロジェクト」の一環で行われたものです。

子どもたちは、最初は恥ずかしがっていましたが、時間がたつにつれ、笑顔があふれていました。



建設業協会と商工会工業部がボランティア
きれいになった観光施設

7月13日、小林地区建設業協会青年部（34社）の34人が矢岳高原ベルトンオートキャンプ場周辺の清掃ボランティアを行いました。

このボランティアは、同協会がえびの市に何か貢献できないかと行われたものです。会員は、キャンプ場周辺から展望台周辺までの草刈りなどを行っていました。

7月28日には、商工会工業事業部の14人が八幡丘公園の街灯の清掃・補修ボランティアを行いました。



地域の防犯に役立てて
LED防犯灯111基を寄贈

7月27日、米良電機産業株式会社の社長ら3人が市長を訪問。米良充典LED防犯灯111基を市に寄贈しました。

市内に設置している防犯灯が、蛍光灯や電球タイプの古いものであるため、省エネルギーに優れ、長寿命のLED防犯灯に置き換えてもらおうと贈られたものです。

同社の米良充典社長は「地域の安全安心のため活用してください」、市長は、「有効に活用させていただきます」と話していました。



えびの気質

酪農家

前原莉沙さん

両親の後ろ姿に憧れて酪農の世界に

「牛の世話をしている父と母の後ろ姿がかつこよく、幼い頃から酪農家になろう。牛を育てようと思っていました」と話すのは、家族で酪農を営む前原莉沙さん（田代区）です。前原さんの家は、乳牛70頭をかかえる酪農家です。両親、祖父母、妹、弟の7人で営んでいます。前原さんは、5歳の時から家の酪農を手伝っていました。

前原さんの一日は、朝6時から始まります。朝昼晩の3回のエサやりや清掃、搾乳などをこなします。「きついときはありますが、牛のことを考えれば全然苦になりません」

中学の時の進路指導では、同じクラスの友だちが進路について悩む中、前原さんは、「酪農をする」という夢があったため、進路には悩みませんでした。

高鍋農業高校から岡山県の中国四国酪農大に進み、酪農についての知識を深めました。大学では、近代化に即応し、企業的经营能力を有する酪農を学びました。

不安でたまらなかった宮崎での口蹄疫

宮崎県で口蹄疫が発生したとき前原さんは大学2年生。発生を知人から聞きました。

「最初は、児湯の方だから大丈夫だろうと思っていました」。その後、口蹄疫の被害が

拡大し、ついにえびの市でも発生が確認されました。家の牛たちのことが心配でたまらなかつたという前原さん。心の頼りは母親へのメールでした。「家の牛は大丈夫」のメールに、母親から「大丈夫だよ。心配しなくてもいいよ」との返事を受けるたび、日々、安堵したそうです。

安心安全な牛乳を提供するため日々努力

「大学時代は、牛を育てる機会がありました



信念を持って牛を育たい

が、大学の牛のため、なかなか、思い通りに育てることができませんでした。今は、父や母の助言と自分の考えを実践に変え、安心安全な牛乳をつくるため日々努力しています」

牛はストレスに敏感で、乳量が減ることがあります。暑さ対策にも余念がありません。「扇風機やスプリンクラーで牛舎を涼しく保ち、牛になるべくストレスを与えない工夫をしています」

前原さんの家では3回の給餌をします。「エサやりのたびに牛の健康状態を観察します。こまめに牛を観察することで、牛の体調などがわかります。体調の悪い牛にはエサを変えるなど工夫をしています」。酪農の師匠、父親の和明さんは「莉沙はよくやってくれています」と目を細めます。

酪農は、牛が好きだからできる仕事という前原さん。「酪農家は、牛の肥育や生産などを命をあずかる仕事です。食卓に安心安全なものを提供する責任もあります。だからこそ、やりがいがあります。これからも安心安全な牛乳を提供して、家庭でおいしく飲んでもらえるように信念をもって牛を育てていきたいです」



Profile

まえはら・りさ / 21歳
／田代区 / 趣味：切手シート収集（高校3年から集めている）



うまかまん

今 月紹介するのは、ふるさと料理教室でつくった「コメティーヤ」です。

コメティーヤとは、メキシコ、アメリカ合衆国南西部、中央アメリカの伝統的な薄焼きパン「トルティーヤ」をもじったものです。

トルティーヤは、すり潰したトウモロコシから作りますが、今月紹介する「コメティーヤ」は、トウモロコシの代わりに米粉を用いて作るアイデア料理です。

コメティーヤは、肉類、魚のフライや海老フライなどの具材と相性がよく、旬の野菜などを挟んでもおいしくいただけます。肉類などを挟む場合は、薄切りで棒状にカットすると包みやすく食べやすくなります。



ハレの日に欠かせない料理。家庭ごとに多彩な味わい。

今月の一品 コメティーヤ

Recipe レシピ

【材料】

(生地) 米粉100g、水180cc、卵1個、塩少々(具) 鳥もも肉1枚、キュウリ1本、ネギ1本、ニンニク1片、塩コショウ適宜、片栗粉適宜

④ (タレ) ハチミツ40cc、しょうゆ50cc、豆板醤小さじ1、砂糖大さじ1

【作り方】

- ① 生地の材料をボウルに入れ、混ぜ合わせる。
- ② 油をひいたフライパンに生地を入れ、素早く広げ両面を焼く。
- ③ 鳥もも肉は、塩コショウをして片栗粉をまぶし、フライパンで揚げ焼きし、棒状にカットする。
- ④ 鍋に、④とニンニクのスライスを入れ火にかけ、少し煮詰まってきたら、③を入れる。
- ⑤ 具となるキュウリとネギを切り、焼いた生地に鶏肉とキュウリ、ネギを包み込む。



【紹介者】ふるさと料理教室のみなさん

目指せ！世界ジオパーク認定



環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

環霧島 探訪

今月は、湧水町の飯盛溶岩台地(沢原高原)の世界的景観と地底のふしぎを紹介します。

◇飯盛溶岩台地

霧島山の元祖は加久藤カルデラです。そのカルデラ内に最初に出現した山が栗野岳です。30万年前に形成された栗野岳溶岩台地の上に、3万年前新たな溶岩流で形成された飯盛溶岩台地を沢原高原と呼びます。

沢原高原は、阿蘇久住の草原に次ぐ九州第2の草原で、面積は1000ヘクタールあります。この草原は、栗野岳原生林と隣接していて、日本でもまれに見る景観を有し、草原と森、そして湿原の動植物が混住する動植物の宝庫です。

沢原高原は、地質学的にも次のような景観と現象を確認する事ができます。

①栗野岳溶岩台地に飯盛溶岩が重なった様子が一目で判別



世界的景観の沢原高原

出来る世界的にもまれに見る景観です。

②岩流内にガス爆発により隆起した数多くの火山隆起丘が見られる世界でも珍しい景観です。

③起丘の中腹に「和気穴」と呼ばれる奥行23メートルの溶岩洞穴が存在します。これは世界で2例目に発見(確認)された安山岩性溶岩洞穴です。

④気穴は風穴になっていきます。夏は空気を吸込み、冬に吹出す現象が見られます。標高350メートル以下にある風穴では、和気穴とは逆転現象がみられます。地底でも空気の対流が生じている事が想定されます。これは、なぞであり不思議な現象です。今後の研究課題となっています。

EVENTS OF KANKIRISHIMA

高原町



たかはるよりどり交流市

- 日時=9月16日(日) 午前8時~午前11時
- 場所=高原町中央商店街
- 内容=商店街に軽トラ市が並びます。たかはる灰干し無料ふるまい、ボン菓子無料ふるまいやトランポリン体験コーナーなど
- ☎(農)はなどう 杜の穂倉 ☎42-1839

小林市



第28回のじり湖祭

- 日時=9月1日(土) 午後1時~午後9時
- 場所=のじりこびあ野外ステージ
- 内容=[昼の部] 商工会商業祭(抽選会あり)、仮面ライダーフォーゼショー [夜の部] 女尻相撲大会、花火と響座太鼓のコラボレーション
- ☎野尻町総合案内所 ☎44-3004

秋の交通安全運動実施



9月21日(金)から9月30日(日)までの10日間、「秋の全国交通安全運動」が実施されます。

【スローガン】

ストップ! 脇見 ぼんやり運転

【運動の重点】

- ・夕暮れ時と夜間歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
- ・全ての座席のシートベルト、チャイルドシートの着用
- ・飲酒運転の根絶
- ・てげてげ運転追放運動の推進
- ・セーフティーエコドライブの推進

7月の交通事故発生状況	人身	12件	本年7月末	62件
	物件	20件	本年7月末	193件

見学できます。合同訓練



9月9日の救急の日にあわせて防災ヘリとドクターヘリの合同訓練を行います。当日は、防災ヘリ、ドクターヘリの内部、各種消防車両の見学や消防車両の展示もあります。市民の皆さんの見学をお待ちしています。

- 日時=9月9日(日) 午前9時30分~
- 場所=水辺の楽校(池島地区)
- 訓練内容
登山中の負傷者を防災ヘリが救助する想定訓練。ドクターヘリを使つての重症患者搬送想定訓練。

※天候によっては、時間や場所の変更があります。詳細については、えびの消防署までお尋ねください。

7月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	0件	年計	6件
	救急	65件	年計	476件

自公連だより

※自公連…「自治公民館連絡協議会」の略称



一人暮らし家庭の清掃

まとまりのある小さな集落

出水自治公民館

出水区は、分区数3、人口215人(平成24年4月1日現在)の集落です。えびの市の東南部に位置し、南には白鳥山や韓国岳を望むことができます。地区の西部には、出水観音があります。出水観音の池からは、大量の湧水があり、その透明な水は、地区の生活用水や水田などに利用されます。

地区行事は、大きな行事を避け、各部が知恵を出し合ったささやか

な行事を地区民との融和を図りながら行っています。特に女性部(のぞみの会)の「料理教室」「支え合い事業」や高齢者クラブの定期的な「グラウンドゴルフ大会」「視察研修」、育成会を中心とした世代間交流の「グラウンドゴルフ大会」「一人暮らし家庭の清掃」など継続性を持って行っています。

地区の高齢化率は36パーセント代ですが、若者の移住者も増え、15歳以下の子どもが20人以上いま



出水自治公民館長
新出水寛人さん

す。これから小学校に入学する子どもたちが増えるのが楽しみです。今後も引き続き地区民との連携を密にして、地区の活性化を掲げ、地区の発展をめざしていきます。

男女共同参画



飯野高校での男女共同参画セミナー

デートDVに関する知識を深める

市では、すべての人の人権が尊重され、性別にかかわらず、一人ひとりがその個性と能力を発揮することができる社会をめざして、男女共同参画を推進しています。

6月12日、飯野高校体育館で「デートDV」をテーマに男女共同参画セミナーを開催しました。セミナーには、飯野高校の生徒と市民ら約350人が参加しました。このセミナーは、デートDVに関する知識と現状を知ってもらう

とともに、デートDV防止の啓発を目的に行われたものです。

参加した生徒たちは、「自分には関係ないと思っていましたが、決して他人事ではないと思いました」「相手を尊重することや自分を大切にすることを忘れないようにしたいです」などと話していました。

また、たくさん市民も参加しました。ある参加者は「自分を振り返り、相手を尊重しながらコ

ミュニケーションをとることの大切さに改めて気付かれました。生徒の反応を感じ取りながら講演を聞いたことが新鮮な経験でした」と話していました。

※デートDVとは、若い恋人間に起こる暴力(精神的なものも含む)をいいます。

☎ 市民協働課・市民協働係
35-1111(内線353)

いきいき!健康



笑いでがん細胞の異常増殖をストップ!

私たちの体では、毎日、数百〜数千個のがん細胞が生まれています。がん細胞の遺伝子は、細胞を再生しそれ自体は悪者というわけではありません。怖いのは、ストレスなどで免疫力が低下し、このがん遺伝子の増殖を抑制するリンパ球(NK細胞やキラーT細胞などを含む)が減り、増殖を抑制できなくなることです。

がんは、肉体的なものより精神的なストレスが原因で多く発症し

ているとも言われています。ストレスを感じやすい人や眠れない日が続いている人などは、絶えず交感神経を緊張させています。そのため、白血球の好中球が増え活性酸素が過剰に分泌され、NK細胞やキラーT細胞が減少しやすくなり、いわれています。

一日の中でゆったりリラックスする時間がありますか? ワクワクする楽しみがありますか? 笑うこと、待ちわびる楽しみのあること

が、NKキラー細胞を増やします。笑いや待ちわびる楽しみでがん細胞の異常増殖を抑制しましょう。

がんは、早期発見、早期治療が大切です。市では、がん検診を実施しています。詳しいことは、健康保険課市民健康係にお問い合わせください。

【参考文献】「財団法人がん研究振興財団冊子」・「がんと生きる四つの法則」安保徹・福田裕著

☎ 市民健康課市民健康係
35-1111(内線284)
文:鞍津輪保健師

田の神さあおどり出場者募集

田の神さあおどり練り歩きの出場チームを募集します。健康な人であればどなたでも出場できます。今年の田の神さあおどりは、吉都線開業100周年記念イベントで行われます。たくさんの応募をお待ちしています。



みなほ

- 大会日時=9月30日(日) 午後1時~(予定)
- 会場=えびの駅~えびの駅前通り
- 申込締切=9月10日(月)
- 応募要件=おおむね5人以上で申し込みください。市内・市外は問いません。
- 参加賞=出場チームには、参加賞があります。
- 申込方法=申し込み用紙に必要事項を記入の上、郵便、FAX または電子メールで申し込みください。申し込み用紙は市役所企画課で配布するほか、えびの市のホームページ (<http://www.city.ebino.lg.jp/>) からダウンロードできます。

申・岡吉都線100周年記念事業実行委員会事務局(えびの市企画課内)
〒889-4292 えびの市大字栗下1292番地
☎35-1111(内線321) FAX35-0401

口蹄疫被災地ツアー「泉谷しげる ライヴ&トーク」inえびの

口蹄疫復興イベント「泉谷しげる ライヴ&トーク」in えびのが開催されます。口蹄疫被災地のために泉谷しげる氏が無償で実施するイベントです。入場料は無料です。たくさんの参加をお待ちしています。

- 開催日=9月10日(月)
- 時間=午後6時~午後8時30分
- 場所=えびの市文化センター前広場(雨天時はえびの市文化センターホールでの開催)
- 内容=[入場]午後6時~ [開演]午後6時30分~ [泉谷しげる ライヴ&トークショー] 午後7時~ [終演]午後8時30分

- 入場料=無料
- 岡市観光商工課観光係
- ☎35-1111(内線331・332)

古事記編纂1300年記念事業 里中満智子講演会



古事記編纂1300年記念事業として、里中満智子講演会「歴史を楽しむ 私にとっての古事記」が開催されます。歴史を扱った多くの著作を持つ漫画家里中満智子氏が語る、古事記をテーマにした講演会です。入場料は無料です。興味のある人はぜひ応募ください。

- 開催日=9月2日(日)
- 時間=午後1時30分~午後4時
- 場所=えびの市文化センターホール
- 定員=先着400人(定員に達し次第、締め切ります)
- 内容=[受付]:午後1時~(ハガキ確認) [えびの市郷土芸能・古事記絵巻]:午後1時30分~ [里中満智子講演会]:午後2時15分~午後3時45分
- 入場料=無料
- 申込方法=①郵便番号、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥同伴者の氏名・年齢(同伴者は3人まで)を明記の上、往復ハガキで下記まで申し込みください。
- 申・岡 〒880-0925 宮崎市本郷北方2753-5 古事記1300年講演会事務局(AVC放送開発内)
- ☎0985-50-4173
- 受付時間:平日午前10時~午後6時

◎イベント

人形劇「ライオンとねずみ」

- とき:9月1日(土) 10:30~11:30
- ところ:市文化センター2階大研修室
- 対象:0歳~大人まで
- 入場料:無料



◎9月のスケジュール

1 土	人形劇「ライオンとねずみ」	10:30~11:30
3 月	図書館休館日	
5 水	図書館休館日(館内整理日)	
	移動図書館車巡回①	13:20~15:35
8 土	おはなし会	10:30~11:30
10 月	図書館休館日	
12 水	おでかけ図書館(老人福祉センター)	14:00~15:00
	移動図書館車巡回②	13:20~15:05
13 木	ブックスタート(1歳児に絵本配布)	
14 金	移動図書館車巡回③	13:20~15:35
15 土	おはなし会	10:30~11:30
18 火	図書館休館日	
19 水	移動図書館車巡回①	13:20~15:35
22 土	おはなし会	10:30~11:30
24 月	図書館休館日	
26 水	図書館休館日(館内整理日)	
	移動図書館車巡回②	13:20~15:05
28 金	喫茶「ふら〜っと」営業	9:45~11:00
	移動図書館車巡回③	13:20~15:35
29 土	おはなし会	10:30~11:30

※おはなし会:乳幼児10:30~11:00、4歳以上11:00~
※移動図書館巡回
①尾八重野分校→飯野駅前地区体育館→飯野出張所
②岡元小学校→市立病院→さくら苑
③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター

市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間 ■ 火曜日~土曜日/午前9時~午後7時 日曜日・祝日/午前9時~午後5時
■休館日 ■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

おすすめの一冊



希望の筆

丘修三/著
(佼成出版社)

ダウン症の書家・金澤翔子さんの誕生から現在に至るまでの長い道のりが書かれています。期待の赤ちゃんがダウン症であったことから絶望し、死ぬことまで考えた母・泰子さん。障害のある子どもを守り育てようとする強い母親へと変わった背景にはさまざまな出会いや出来事がありました。元気がもらえる、心温まる一冊です。

[最近買った本] 光 道尾秀介著 光文社/清須会議 三谷幸喜著 幻冬舎/夜の国のクーパー 伊坂幸太郎著 東京創元社/寝たきりにならないための健康寿命の延ばし方 宮田重樹著 KKベストセラーズ/鍵のない夢を見る 辻村深月著 文藝春秋/おしゃべり上手に年を重ねて 西村玲子著 海竜社/内臓脂肪がぐぐっと減る知恵とコツ 主婦の友社



猫ばたらき

新美敬子/著
(河出書房新社)

猫ってうらやましいなあと思ったことはありませんか。この本では、自由気ままに過ごしている猫を「働く猫」と称して、紹介しています。環境保護団体や礼服のモデル、探偵に学者など見ていると本当に猫が仕事をしているようです。愛くるしい猫たちの魅力がたくさん詰まった写真集です。猫好きには必見の一冊です。

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

昔ばなし 飯野麓区 ともぎよやすこ
「ほくか...」
すつとすつと昔まだ八才だった頃にねえ
という出だしで
いつも彼の幼い頃の思い出がはじまる
まだ今五才の彼にとっては
三才の経験はもう
昔話になっていくらしい
泣かないその話に
そんな事が確かにあった!あった!
幼子の記憶力に感嘆するのみ
大人の独断やごまかしは通用しない
留まることを知らない川の流れる
橋の上からただ
ながめているような気がした

俳句 白鳥区 中堀ふじ子
子の後を追ひかけてゆく日傘かな
平和台公園に行った時に出来た句です。
暑い日でした。池の近くまで行った時、保育園の親子遠足と見られる一団と出会いました。と、一人の子が走り出しました。母親中間の中からも一人の母親が追いかけてます。その様子がまるで日傘が転がるようでした。(自註)

短歌 下浦区 龜澤尚子
踏まれても踏まれてもお立ち上がる
雑草の強さ音も欲しかり
(詠) 八月七日は立秋。暦の秋は猛暑の
絶頂で始まる。暑い日を集めて、夏咲
きの花々が一斉に咲き競う。あら草も
又、今を盛りと伸び立つ。勢い合う命
を持ち植物の強さと、いとおしさが作
者の心に共感を呼び素直で情のある本
音の詠である。(竹下妙子)

(短歌) 竹下妙子さん ☎37-3056 (俳句) 松山良文さん ☎33-4904 (詩) ポエム同好会(市田寛幸さん) ☎37-2528まで

【おわびと訂正】7月号、短歌(評)で「遣り」のルビを「遣り」としていましたが、おわびして訂正します。

平成24年度えびの市市民表彰者の推薦をお願いします

市では、えびの市表彰条例に基づき、本市の振興発展や市民生活の向上などに尽力し、その功績が顕著な人や団体を表彰しています。平成24年度のえびの市市民表彰候補者の推薦をお願いします。

【対象者および表彰の種別】

次の①～⑤に該当し、個人表彰候補者の年齢は原則として75才以上の人とします。ただし、特例的なものはこの限りではありません。

- ①地方自治の進展に貢献した人または団体
- ②産業経済の発展に貢献した人または団体
- ③教育、芸術、体育、その他文化の進展に貢献した人または団体
- ④公共の福祉に貢献した人または団体
- ⑤市民生活の向上、社会道徳の高揚に貢献した人または団体

- 表彰式＝11月3日(土)文化の日
- 推薦方法＝市企画課秘書係にある功績調書を記入の上、企画課秘書係に提出してください。
- 推薦締め切り日＝9月28日(金)

☎市企画課秘書係
☎35-1111(内線302)

特定非営利活動法人(NPO法人)制度の出前相談を行います

市では、県生活・協働・男女参画課と合同でNPO法人制度に関する出前相談を実施します。

NPO法人制度や改正NPO法などについての質問や相談をお受けします。どうぞお気軽に参加ください。

- 開催日＝10月16日(火)

- 時間＝午後1時30分～午後4時
- 場所＝市役所本庁1階1-1会議室
- 相談内容＝NPO法人の設立を考えている人、NPO法人の定款変更をしようと検討している人、NPO法人制度を知りたい人など
- 相談申込方法＝市民協働課にある申し込み書を記入の上、市民協働課に提出してください。

☎市市民協働課
☎35-1111(内線353)

森林の伐採、土地所有者になった場合は、届け出を忘れずに

森林を伐採する時や森林の土地所有者となった場合には、事前に「届出書」を提出することが森林法の規定で義務付けられています。森林を伐採する、森林の所有者になった場合は、必ず「届出書」の提出をお願いします。

- 森林を伐採する場合
 - 対象の森林
県が作成する地域森林計画対象の森林です。※保安林または保安施設地区は除く。
 - 届出期限＝伐採する日の30日以上90日前まで
 - 記載事項＝届出書には、森林の所在場所、伐採の計画、伐採後の造林の計画
 - 添付書類＝伐採する場所の位置図
 - 森林の土地所有者となった場合
 - 対象の森林＝県が作成する地域森林計画対象の森林。
 - 届出期限＝所有者となった日から90日以内
 - 記載事項＝届出者と前所有者の住所氏名、所有者となった年月日、所有権移転の原因、土地の所在場所・面積
 - 添付書類＝登記事項証明書(写しも可)または土地売買契約書など
- 詳しくは、市畜産農林課林務係までお問い合わせください。

今月の納税

個人市県民税 第2期、国民健康保険税 第2期
後期高齢者医療保険料 第2期、介護保険料 第2期
8月31日(金)までに納めましょう。

さい。
☎市畜産農林課林務係
☎35-1111(内線221・229)

参加ください えびの市市民大学公開講座

市教育委員会では、「霧島ジオパーク構想Ⅱ～見慣れた風景の中にある地球の歴史～」と題し、どなたでも参加できる市民大学公開講座を開催します。

これは、昨年「南九州の自然とジオパーク」の続編で、最近よく耳にする霧島ジオパークのことがより専門的に学べます。市民の皆さんの多数の参加をお待ちしています。

- 開催日＝9月15日(土)
- 時間＝午前9時30分～午前11時30分
※受け付けは、午前9時から行います。
- 会場＝えびの市文化センター大研修室
- 講師＝井村隆介氏(鹿児島大学大学院准教授)
- 受講料＝無料
- 申込方法＝参加希望の人は市社会教育課までご連絡ください。当日参加も受け付けます。

☎市社会教育課(文化センター内)
☎35-2268

結核検診(飯野地区)を行います

今年度の結核検診(飯野地区)を実施します。

- 対象者＝65歳以上の全市民。ただし①～④に該当する人で市役所に申し出をしている人には実施通知書は送付していません。
- ①職場で受診する人

- ②入院中や病気治療中または歩行困難で受診できない人
 - ③最近3か月以内に病院等で胸部レントゲンを受診した人
 - ④肺がん検診を受診した人や市の人間ドックに申し込みをしている人
- ※実施通知書が届いた人で①～④に該当する人は、市健康保険課市民健康係までご連絡ください。

期 日	会 場	時 間
9月7日(金)	堀浦多目的集会施設	9:20～10:00
	上大河平 鍋倉公民館	10:20～10:40
	大河平小学校	11:00～11:30
	下大河平公民館	13:30～15:00
9月10日(月)	麓(飯)旧飯野中長善寮	9:20～10:10
	東原田公民館	10:30～11:30
	杉水流公民館	13:30～15:00
9月11日(火)	飯野地区公民館	9:20～10:50
	今西公民館	11:10～11:30
	坂元公民館	13:30～14:00
	前田公民館	14:10～14:40
9月14日(金)	山内公民館	9:30～10:00
	えびの福祉作業所	10:20～11:00
	芋畑コミュニティセンター	13:30～14:00
	高野畜産管理センター	14:30～14:50
9月19日(水)	飯野駅前地区体育館	9:20～11:00
	南原田 大迫 宮原 畠山 様宅	13:30～14:00
	南原田 妙見 活性化センター	14:20～14:50
9月20日(木)	池島公民館	9:20～10:00
	中上江公民館	10:10～10:50
	上江地区体育館	11:00～11:30
	上上江公民館	13:30～14:00
9月21日(金)	田ノ上運動場	14:20～14:40
	白鳥地区 宮農 研修館	9:30～10:30
	末永公民館	10:50～11:30
	田代公民館	13:30～14:10
9月25日(火)	出水公民館	14:30～14:50
	飯野駅前地区体育館	9:30～10:30
	南原田公民館	10:50～11:20
	飯野地区公民館	13:30～14:10
	中原田公民館	14:30～15:00

☎市健康保険課市民健康係
☎35-1111(内線275)

◎今月の表紙 上浦の澤原八坂神社で行われた「棒踊り・鎌踊り」



人 口 20,875人(-58人)

男性 / 9,755人(-28人) 女性 / 11,120人(-30人)
転入 / 31人 転出 / 78人
出生 / 17人 死亡 / 28人

世帯数 9,067世帯(-42世帯)

(平成24年8月1日現在)

今 月から広報紙のレイアウトを全面リニューアルしました。読みやすく、見やすい広報紙を目指し、頑張っていくので、よろしくお祈りします。

広報紙の掲載スペースには限りがあります。取材に行ってもやむを得ず掲載できない場合があります。ご了承ください。(川野)

Editor's



花蜜の好きなメジロ

メジロの名前は、眼のまわりが白いので「目白」です。メジロは方言で「ハナシ」とも呼びます。「ハナシ」の語源は、花の蜜を吸うので、「花吸い」がなまったものです。

また、「目白押し」という言葉は、メジロが木の枝に並んで止まり押し合う習性を持つところからきています。

メジロは、夏は山地の林でつがいで生活しますが、冬は幼鳥やつがいが集まって群れで生活し、市街地でも見られます。

昆虫類を主食にしていますが、冬には、熟柿やイヌツゲ、ピラカンサなどの木の実も食べます。春先には、ウメやサクラ、ツバキなどの花の蜜も吸います。

鳴き声は、普段は「チー」や「チュー」と鳴きます。雄は繁殖期に高い声で「チョーチル、チューチル、チョチュチー」などとさえずり、「長兵衛、中兵衛、長中兵衛」と聞きなされます。

メジロは美しい鳴き声のた

め、江戸時代からさえずりを競う「鳴き合わせ会」が行われ、雄一羽が高値で売買されていた。また、明治期ごろからは、観賞用にカゴの中で飼うことが、庶民の間で流行しました。そのため、密猟が横行し、「カスミ網」などの密猟道具で、大量に捕獲する問題も起きていました。

そこで、野鳥を保護する観点から、野鳥の捕獲や飼育を法的に制限する動きが、年を追うごとに厳しくなってきました。

そして、今年の四月から、メジロの捕獲と飼育が原則禁止になりました。これで、すべての野鳥が捕獲禁止になったため、野鳥を飼ったら法律違反になります。

野鳥の姿と鳴き声は、自然の中で楽しみましょう。

メジロを詠んだ俳句に、富安風生の「見えかくれ居て花ごぼす目白かな」や、北林青圃の「声ちかき目白に梢見上げたる」などがあります。

(文／えびの市歴史民俗資料館)

「人」と「まち」をつなぐ

広報 **えびの**

平成24年8月21日発行

8